

祝卒業

松 波

発行
長洲中学校



卒業生のみなさんへ

「天の封書」 校長 中山直幸

教育学者の森信三先生の言葉に、「我々人間は、『天の封書』をいただいている。その封書には、生まれながらの世に派遣させられた使命の内容が書き込まれており、少なくとも四十歳までに封書を開封し、しっかりと読み取らねばならないと綴られていました。」

私自身も中学、高校時代に、人は何のために学び、何のために働くのか、受験勉強中よく考えました。中学生の時は、自分が将来就きたい仕事は何か、将来の夢は何かと聞かれたときに答えが見つからず焦りを感じたことを覚えています。先輩の後ろ姿にあこがれ、教育大学に進学を決めたのは高校三年の秋でした。

大学での教育実習終了後、あらためて教師の仕事に魅力を感じその後教育採用試験に向け勉強しました。憧れの中学校教師となり担任を持たせてもらいましたが、決して楽しい日々だけではありませんでした。それでも良き先輩や同僚の先生方との出会い、素晴らしい生徒・保護者との出会いの中で教師という仕事の素晴らしさや生きがいを感じています。

校長となった今「天の封書」には、「長洲中の生徒全員が、毎日楽しく学校生活をおくれるようにしなさい」と書いてあると思っています。生徒はもちろん、先生方や保護者の皆さんにとっても「学校が楽しい一〇〇%」を目指し、地域と一体になった学校経営を行いたいと思っています。

卒業する生徒の皆さん、これから多くの人の出会いや様々な体験を通じて、自分自身